

令和4年度 第2回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月6日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、鈴木 好治、小楠 倫嗣、辻村 栄子、  
石津 正貴、横井 詠子、野寄 佐衣子
- 4 欠席委員 横井 秀輔
- 5 学校支援コーディネーター 石津 正貴
- 6 学 校 結城 知則、土屋 憲司、牧野 美緒里、井内早穂里、中島 和美
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
  - （1）議長選出
  - （2）授業参観～授業についての感想、意見
  - （3）学校支援活動について
  - （4）広報活動について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 11 会議記録

司会の土屋から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

\* 会長挨拶

\* 校長挨拶

- ・ 暑い中ではあるが、子どもたちはエアコンの効いた涼しい教室で頑張っている。また、運動場でも元気に活動している。マスクを取る、水分を補給するなど教師も子どもも熱中症に気を付けている。
- ・ コロナについては、一度コロナでの欠席者ゼロになったが、昨日よりまた欠席者が出ている。
- ・ 5月のぐんぐんスポーツ大会が終わってから、6年生が委員会活動においてイベントを企画するなど低学年も楽しめるようを頑張っている。
- ・ 1年生はあさがお、2年生は野菜を育てるなど各学年様々な活動に取り組んでいるが、一方で教室に足が向かわない子どもも出てきている。保護者と連絡を取り合い、子どもと困りごとの共有をするなどして対応している。
- ・ 教職員については、子育て、介護など休みを取りつつ勤務している職員もいるので、お互いにフォローし合いながら頑張っている。

\* 教頭より

- ・ 本日は篠原小について知っていただきたい。職員は授業改善に力を入れている。本校は今年度、指定研究校になっており、本来、教科指導主事の来校は1年に1度であるが、今年度は依頼すれば何回でも来校していただくことが可能なので、各教科の授業について指導してもらえる。
- ・ 配付したグランドデザインの表を参考に、本日の授業参観の際には目指す子供像の中でも特に「きらきら～共に学び続ける子～」に注目していただきたい。「意欲を持って」学び続ける子を目指して授業をしている。
- ・ 重点的な活動の具体的内容としては、以下の通りです。
  - ①子供たちにどんな力を付けたいか明確にして計画していく。
  - ②友達との対話において学習を深めていく。
  - ③あゆみ（評価表）を渡して終わりではなく、そこからどう頑張れば上がっていくのか、保護者や子供にも分かりやすく説明していく。評価は教師自身の評価にもなると理解し、授業改善にも生かしていく。
- ・ また、「主体的、対話的で深い学びの実現について」は、学習指導要領に基づいた授業をしているが、学習指導要領は10年ごとに見直され、現在は平成30年スタートのものとなっている。今回はタブレットの使用など、時代の変化に合わせて大きく変わっている。教師にもとまどいがあるが、読み込み、理解して子供につけたい3つの力を意識し授業に取り組んでいる。

<協議>

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 授業参観～授業についての感想、意見

授業参観後、議長より委員に意見、感想を求めたところ、以下のような感想、意見があった。

- ・ 予定表を見ると、1時間（45分）の授業と2時間続けての授業があるが、その区分けはどのように設定されているのか。子供にとって2時間続けての授業は長いのでは。（好治委員）
  - 作業あり、話し合いあり、思考ありの様々な内容がある授業もあり、授業を続けた方が教育的効果が見込まれる際には連続させることもある。（教頭）
- ・ 1時間にするのか、2時間にするのは先生の自由度があるということか。（好治委員）
  - 篠原小は教科担任制を取り入れているので、時間割が決まっている時は2時間にするのは無理だが、クラス担任の授業の際には、状況により2時間で授業を組んだりしている。
- ・ 教科担任制について、中学になると全て教科担任制になるので、小学校でそれを体験できるのは中学入学に向けての準備にもなり、いいと思う。（詠子委員）
- ・ 子どもも先生も落ち着いた口調で話をしている。先生は発表者の良いところを認め、それが子どもの自信につながり、またその様子を見ていた子どもも発表しようと思えて良いと思う。（詠子委員）

- ・ 6年生の調理実習について。火を使っていたが最近ではIHの家庭も多く火の扱いに慣れていない子どもも多いと思われる中、担任一人でやっているのは見ていてひやひやする。大人の目がもっとあると良い。(詠子委員)
- ・ 6年生の算数について。内容が難しくなり算数が好きと嫌いの分かれ道になってくる時期だと思った。家庭科、図工などの実習授業だけでなく、5教科の補助もあったほうがいいのかと思った。(石津委員)
- ・ モニターを使用しているのを見たが、話だけだと聞き逃すこともあるので、目で情報が入るのはいいと思う。また、ホワイトボードも使用しており、誰が何を書いたのかわかりやすく、グループやクラスの意見をまとめるのにも有効だと思った。(野寄委員)  
→ ホワイトボードは、大小のものを有効に使い分けるようにしている。(教頭)
- ・ 家庭科のお茶を入れる授業を見た。火を使う授業はやはり補助が必要だと思った。実習をするにあたり、お茶とはどういうものか、という説明もあるといいと思った。(小楠委員)
- ・ 書道の授業について。だじゃれを取り入れているなど、授業に子供をひきつけるための工夫が見られた。また、書道でもグループで話し合うなど、対話を重視している様子が分かった。(辻村委員)
- ・ 先生が教え込むのではなく、子供たちの意見を聞き、結論を導いているのが良い。グループの話し合いの中で意見が飛び交っており良いと思った。(辻村委員)
- ・ 子ども達の表情、様子を注意して見たが、皆、健康そうであり、表情は生き生きし、目は輝いている。生き生きと授業に参加している様子が印象的だった。(脇本委員)
- ・ 暑い中でも子どもたちは集中して授業に参加していた。先生方もハキハキしており、声の大きさも大きすぎず小さすぎず、子どもが萎縮することないし、聞こえないということもない、ほどよい大きさだった。子どもと先生の関係も良好であると感じられる。(直樹委員)
- ・ 教室の掲示に「節電に努めよう」と書いてあった。現状の社会を把握し、SDG'sを目標に子どもがいないときには扇風機や電気は消すなど、実際の行動を教師から起こしてほしい。子供たちにも教科の学習で学んだことを、教科書の上のことで終わらすのではなく、実際の生活に生かしてほしい。(直樹委員)
- ・ 普段の授業の様子を見ていただけた中で、教員が授業において意識している、対話に力を入れる、ホワイトボード等を活用する、などの点に気付いて評価していただけたのが嬉しい。(校長)

### (3) 学校支援活動について (石津委員)

石津委員より以下のとおり、学校支援についての説明があり、委員より発言があった。

- ・ 各学年の先生からの支援のお願いを年間の表にまとめた(「コミュニティー・スクール お願いしたい学校支援活動」)。今年度はゆっくりと進めようということだったが、今年度中に一つでも二つでも支援を行えたらと思っている。

#### 『年度初めの下校指導』

登校は周りにも登校している人がいるが、下校は学年ごとに時間が異なり、1年生一人の時もあるので下校の補助は必要。これは来年度以降実施したい。

#### 『家庭科「ミシン」使用の際や調理実習の授業補助』

#### 『図工「糸のこ」使用の際の補助』

これら実習は危険を伴うものであり、子供たちが初めて触るものだったりするので、補助が必要。今年度はこれをやっていけたらと思っている。

#### 『昔の遊び体験』

手を使う遊びなど。地域の方の力を学校活動に活かせたらと思う。

- ・ 糸のこの補助は何年か前に参加したが、機械が古くて子供たちだけで刃を替えるのは危ない。機械も新しくする方がいい。(好治委員)
- ・ 昔の遊びとは？(直樹委員)
  - まだ決まっていない。めんこやこまなど、学校にある物が限られている。(牧野)
- ・ びゅんびゅんごまを作る、などはどうか。(詠子委員)
  - 「遊ぶ」とは別に「作る」という体験がある。(牧野)
- ・ 学校に、だるま落としや竹とんぼもあるが、教員もできなかつたりするので是非御協力願いたい。(教頭)
- ・ 地域の人と遊ぶなど、教員以外の人とつながることで学校とは違う学びも生まれると思うので、是非ご支援願いたい。ホームページなどからボランティアを募るのか。(校長)
  - 学校を通すのではなく学校支援コーディネーターを通して行う。(石津委員)
- ・ ボランティア募集の範囲は、地域に限るのか。(脇谷委員)
  - 地域に限らず、人のつながりで協力してもらえらる方をお願いできたらと思っている。(石津委員)
- ・ 学校便りは地域に回覧されるのでそこで募集したら効果があるのでは。(好治委員)
  - (学校便りで？募集し)CS専用のメールアドレスを載せて回覧する予定。また、HPも作っていきたい。(石津委員)

#### (4) 広報活動について(校長)

- ・ CS便り(広報便り)、学校便り、ブログ等で少しずつ地域の方にもCSの存在、活動を知ってもらえるようにしたいと思っている。(校長)
- ・ 第1回運営会議の会議録は学校のHPに載せているが、子ども達にもコミュニティースクールについて知ってもらえるよう、学校に掲示コーナーを作ろうと思っている。
- ・ 委員の方の写真をお便りやブログ、学校の掲示に掲載したいが顔が写っても良いか。(校長)
  - 良い。(出席者全員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告、連絡事項等

- ① 校長から、職員交代の報告があった。  
職員の牧野が産休に入るため、今後は職員の井内に参加する旨の報告があった。
- ② 教頭から、次回会議は、令和4年10月19日(水)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。
- ③ 教頭より次回の協議内容についての説明があった。

次回は学校評価の項目についての協議を予定している。学校評価とは学校の経営が狙い通りに行われているかを、子ども、保護者、地域の方に評価していただき数値化していくものであり、評価項目について今までは職員で決めていたが、今後は委員の皆さんにも意見を聞きたい。

令和4年7月6日

議長 鈴木直樹

会長 鈴木直樹